

目 次

とにかく「会社の数字のことがわからない」というあなたはここから

1. 決算書は利益と財産を「作り出す」ための書類だ P 6
 決算書のルール（売り上げと経費のカウント、減価償却） P 8
2. 決算書は「比較」して「目標」を作って使う P 10
3. 「損益計算書」を使って利益を作る P 12
4. 利益の中身で「どこに手を打てば良いか」わかる P 14
5. 大切な数値は「実感できる数字」をもとに把握する P 16
6. 売上高をスッキリと「視覚」で認識する方法 P 18
7. いくら売れば利益が出るか知る方法がある P 20
8. 「貸借対照表」に会社をつぶさないノウハウが書いてある P 24
9. 資産と負債の種類 P 28
10. 貸借対照表はバランスを見る P 30
 決算書のルール（あなたの決算書は「粉飾」されているかも！？） . . . P 32

試算表や日々の業績で気にするのはココ！！

11. 「単年度」の利益で勝負する P 34
12. 「調整」してない「本来の利益」で勝負する P 36
13. お金の増減を見れば問題の有無がわかる P 38
14. あなたの会社の通帳に入っている「2種類のお金」 P 40
15. 「通帳3分法」を使えば資金繰りが「見える化」する P 42
16. 「手持ち資金」の考え方 P 44
17. 「適正な利益」はいくらなのか？ P 46
18. 借金が生まれるメカニズム P 48
19. 「3つの数字」を気にすれば、お金が貯まりはじめる P 50
20. 日常の帳面と資金繰りの関係 P 52

さあ、決算！！ 少なくともこれくらいはやらなくちゃ。

- 21. 「もうけの仕組み」が前年を上回ることを目指す P 56
- 22. 「在庫」が正しく計算された利益を見ているか？ P 58
- 23. 「粗利益率」にこだわっているか？ P 60
- 24. 決算書の「お化粧」をしたか？ P 62
- 25. 「貸借対照表」のメンテナンスをしているか？ P 64
- 26. グループ会社や役員関係の貸し借りは一本化管理しているか？ P 66
- 27. 「グループ経営」のタテとヨコのバランスを把握しているか？ P 68
- 28. 「節税体質」になっているか？ P 70
- 29. 役員報酬は「利益の3分法」で決める P 72
- 30. 赤字の会社は黒字の会社をマネする P 74
- 31. 赤字をうまく使えているか？ P 76
- 32. 会社に貸したお金の精算方法あれこれ P 78
- 33. お金と「仲良し」になっている会社は何をしているか？ P 80

- オマケ 会社がピンチになる「サイン」を見逃さないために P 82